

平成18年社会生活基本調査 「生活時間の配分に関する結果」 — 岩手県の概要 —

平成19年10月18日
岩手県総合政策室

調査の概要

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和51年以来5年ごとに総務省が実施しています。

平成18年に行われた調査は、平成18年10月20日を調査日として、平成12年国勢調査の調査区から選定された120調査区内の約3,800人(全国では約6,400調査区、約180,000人)を調査の対象としました。

この資料は、総務省が平成19年9月28日に公表した生活時間の配分に関する調査結果から、岩手県に
関係する部分を概要としてまとめたものです。

なお、国民の自由時間等における主な活動に関する調査結果は、本年7月19日に公表しています。

調査結果の概略

1 睡眠(P7)

- 睡眠時間は8時間(男性8時間9分、女性7時間53分)で、平成13年と比べると3分の減少
- 全国と比較すると、岩手県が18分長い(47都道府県の時間の長いほうからの順位は4位)
- 25歳未満を除くすべての年齢階級で減少

2 身の回りの用事(ex.入浴、着替え、化粧)(P9)

- 身の回りの用事の時間は1時間12分(男性1時間2分、女性1時間21分)で、平成13年と比べると2分の増加
- 全国と比較すると、岩手県が3分短い(47都道府県の時間の長いほうからの順位は40位)
- 男性は55～64歳、女性は25～34歳の年齢階級で最も長くなっている

3 食事(P11)

- 食事時間は1時間38分(男性1時間37分、女性1時間39分)で、平成13年と比べると1分の減少
- 全国と比較すると、岩手県が1分短い(47都道府県の時間の長いほうからの順位は21位)
- 65歳以上を除くすべての年齢階級で減少

4 仕事(P12)

- 有業者の1日の仕事時間は6時間32分(男性7時間14分、女性5時間38分)で、平成13年と比べると5分の増加
- 全国と比較すると、岩手県が23分長い(47都道府県の時間の長いほうからの順位は3位)
- 男性は35～44歳、女性は15～24歳の年齢階級で最も長くなっている

5 家事関連(ex.家事、介護、育児)(P14)

- 家事関連時間は2時間1分(男性39分、女性3時間17分)で、平成13年と比べると9分の増加
- 全国と比較すると、岩手県が7分短い(47都道府県の時間の長いほうからの順位は40位)
- 女性の35～44歳の年齢階級で4時間14分と最も長い

6 休養等自由時間活動(P16)

- 休養等自由時間活動の時間は4時間(男性4時間4分、女性3時間56分)で、平成13年と比べると5分の増加
- 全国と比較すると、岩手県が11分長い(47都道府県の時間の長いほうからの順位は9位)
- テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間は2時間26分

1 1日の生活時間の配分

(1) 概観

① 2次活動時間は増加、3次活動時間は減少

岩手県に住んでいる10歳以上の人について、1日の生活時間（週全体平均。以下「週全体」という。）をみると、1次活動¹⁾時間が10時間50分、2次活動²⁾時間が7時間1分、3次活動³⁾時間が6時間9分となっている。

平成13年と比べると、1次活動時間は3分の減少、2次活動時間は5分の増加、3次活動時間は2分の減少となっている。（表1-1）

② 1次活動時間、2次活動時間、3次活動時間の男女差は縮小

生活時間を男女別にみると、男性は1次活動時間が10時間47分、2次活動時間が6時間56分、3次活動時間が6時間16分、女性は1次活動時間が10時間53分、2次活動時間が7時間5分、3次活動時間が6時間1分となっており、1次及び2次活動時間は女性が長く、3次活動時間は男性が長くなっている。

平成13年と比べると、男性は1次活動時間が2分の減少、2次活動時間が15分の増加、3次活動時間が14分の減少、女性は1次活動時間が3分の減少、2次活動時間が4分の減少、3次活動時間が7分の増加となっている。

生活時間の男女差を平成13年と比べると、1次活動時間は7分差が6分差に、2次活動時間は28分差が9分差に、3次活動時間は36分差が15分差になっており、すべての活動で差が縮小している。（表1-1）

③ 平日及び日曜日で2次活動時間が増加、3次活動時間が減少

生活時間を曜日別にみると、平日は1次活動時間が10時間41分、2次活動時間が7時間46分、3次活動時間が5時間33分、土曜日は1次活動時間が11時間2分、2次活動時間が5時間42分、3次活動時間が7時間16分、日曜日は1次活動時間が11時間27分、2次活動時間が4時間35分、3次活動時間が7時間58分となっており、1次及び3次活動時間は日曜日が最も長く、2次活動時間は平日が最も長くなっている。

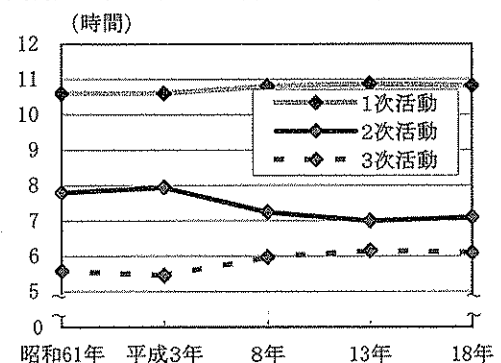
平成13年と比べると、平日は1次及び3次活動時間が減少、2次活動時間が増加している。土曜日は1次及び3次活動時間が増加、2次活動時間が減少している。日曜日は1次及び2次活動時間が増加、3次活動時間が減少している。（表1-2）

④ 減少が続いていた2次活動時間が平成18年は増加

過去20年間の生活時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人についてみると、1次及び3次活動時間は平成3年から増加が続いていたが、18年は減少に転じ、2次活動時間は3年から減少が続いていたが、18年は増加に転じた。

（図1-1、表1-3）

図1-1 行動の種類別生活時間の推移
（昭和61年～平成18年）一週全体、15歳以上



- 1) 睡眠、食事など生理的に必要な活動
- 2) 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3) 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

表1-1 男女、行動の種類別生活時間（平成13年，18年）－週全体

(時間、分)

	総 数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
1 次活動	10.53	10.50	-0.03	10.49	10.47	-0.02	10.56	10.53	-0.03
睡眠	8.03	8.00	-0.03	8.12	8.09	-0.03	7.56	7.53	-0.03
身の回りの用事	1.10	1.12	0.02	1.00	1.02	0.02	1.20	1.21	0.01
食事	1.39	1.38	-0.01	1.37	1.37	0.00	1.41	1.39	-0.02
2 次活動	6.56	7.01	0.05	6.41	6.56	0.15	7.09	7.05	-0.04
通勤・通学	0.25	0.24	-0.01	0.30	0.30	0.00	0.20	0.18	-0.02
仕事	3.59	4.03	0.04	5.01	5.12	0.11	3.02	3.00	-0.02
学業	0.39	0.33	-0.06	0.42	0.35	-0.07	0.37	0.31	-0.06
家事	1.22	1.27	0.05	0.13	0.20	0.07	2.26	2.28	0.02
介護・看護	0.03	0.02	-0.01	0.01	0.01	0.00	0.06	0.04	-0.02
育児	0.09	0.11	0.02	0.02	0.04	0.02	0.15	0.17	0.02
買い物	0.18	0.21	0.03	0.11	0.14	0.03	0.24	0.28	0.04
3 次活動	6.11	6.09	-0.02	6.30	6.16	-0.14	5.54	6.01	0.07
移動(通勤・通学を除く)	0.28	0.24	-0.04	0.30	0.24	-0.06	0.26	0.25	-0.01
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.32	2.26	-0.06	2.39	2.32	-0.07	2.26	2.20	-0.06
休養・くつろぎ	1.23	1.34	0.11	1.24	1.32	0.08	1.21	1.36	0.15
学習・研究(学業以外)	0.11	0.08	-0.03	0.10	0.07	-0.03	0.11	0.08	-0.03
趣味・娯楽	0.34	0.35	0.01	0.40	0.42	0.02	0.28	0.29	0.01
スポーツ	0.11	0.12	0.01	0.14	0.17	0.03	0.08	0.09	0.01
ボランティア活動・社会参加活動	0.03	0.03	0.00	0.02	0.03	0.01	0.03	0.03	0.00
交際・付き合い	0.21	0.19	-0.02	0.22	0.18	-0.04	0.20	0.20	0.00
受診・療養	0.09	0.09	0.00	0.08	0.07	-0.01	0.10	0.11	0.01
その他	0.21	0.18	-0.03	0.21	0.15	-0.06	0.20	0.21	0.01
(再掲)									
家事関連 1)	1.52	2.01	0.09	0.27	0.39	0.12	3.11	3.17	0.06
休養等自由時間活動 2)	3.55	4.00	0.05	4.03	4.04	0.01	3.47	3.56	0.09
積極的自由時間活動 3)	0.59	0.58	-0.01	1.06	1.09	0.03	0.50	0.49	-0.01

注) 四捨五入により内訳と計が一致しない場合がある。

表1-2 男女、行動の種類、曜日別生活時間（平成13年，18年）

(時間、分)

		平成13年			平成18年		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1 次活動	10.47	10.54	11.23	10.41	11.02	11.27
	2 次活動	7.35	6.08	4.28	7.46	5.42	4.35
	3 次活動	5.38	6.59	8.09	5.33	7.16	7.58
男	1 次活動	10.42	10.52	11.22	10.37	11.02	11.26
	2 次活動	7.27	5.46	3.47	7.53	5.21	3.48
	3 次活動	5.51	7.21	8.51	5.30	7.38	8.47
女	1 次活動	10.51	10.55	11.24	10.44	11.03	11.28
	2 次活動	7.42	6.27	5.06	7.40	6.01	5.19
	3 次活動	5.27	6.38	7.30	5.36	6.56	7.13

注) 四捨五入により内訳と計が一致しない場合がある。

表1-3 行動の種類別生活時間の推移（昭和61年～平成18年）－週全体，15歳以上

(時間、分)

	1 次活動	2 次活動	3 次活動
昭和61年	10.36	7.48	5.35
平成3年	10.36	7.57	5.27
平成8年	10.48	7.15	5.58
平成13年	10.52	7.00	6.09
平成18年	10.49	7.06	6.06

1) 家事、介護・看護、育児及び買い物

2) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

3) 学習・研究(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

(2) 年齢階級別にみる生活時間

① 2次活動時間は、男性が35～44歳、女性が45～54歳で最も長い

年齢階級別に生活時間をみると、1次活動時間は、男性は25～34歳（9時間57分）、女性は35～44歳（9時間54分）が最も短く、男女共に10～14歳及び65歳以上で長くなっている。

2次活動時間は、男性は35～44歳（9時間5分）、女性は45～54歳（9時間5分）が最も長く、これより年齢階級が低い及び高いほど短くなっている。

3次活動時間は、男性は35～44歳（4時間53分）、女性は45～54歳（4時間52分）が最も短く、これより年齢階級が低い及び高いほど長くなっている。（図1-3）

② 多くの年齢階級で2次活動時間が増加

生活時間を平成13年と比べると、1次活動時間は、男性は2分、女性は3分減少している。年齢階級別にみると、男性は10歳以上25歳未満の年齢階級で増加、それ以外の年齢階級では減少している。女性は15歳以上35歳未満の年齢階級で増加、それ以外の年齢階級では減少している。

2次活動時間は、男性は15分増加、女性は4分減少している。年齢階級別にみると、男性の10～14歳、女性の10～14歳及び25～34歳を除くすべての年齢階級で増加又は横ばいとなっている。

3次活動時間は、男性は14分減少、女性は7分増加している。年齢階級別にみると、男性は10～14歳及び25～34歳を除くすべての年齢階級で減少している。女性は15～24歳及び45～54歳を除くすべての年齢階級で増加している。（図1-2、表1-1）

図1-2 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間の増減（平成13年～18年）一週全体

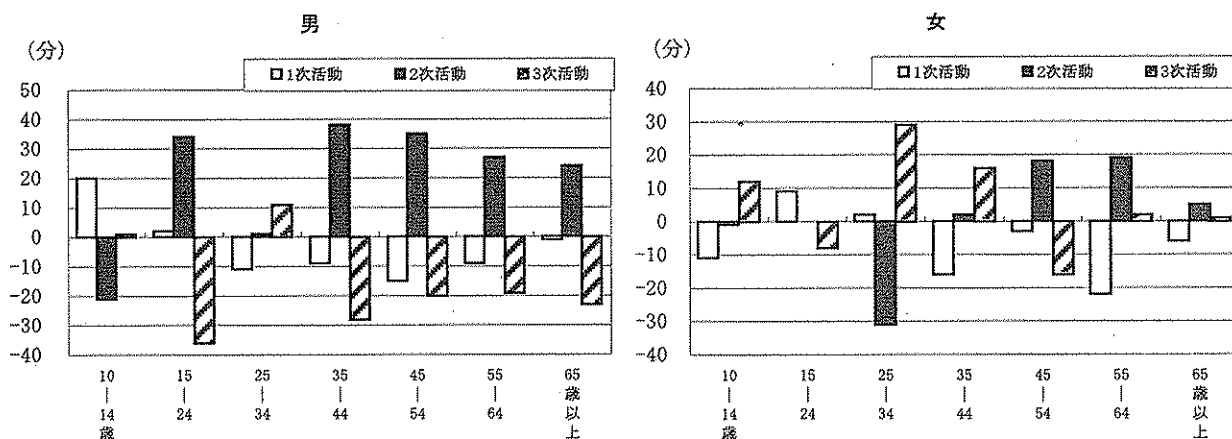
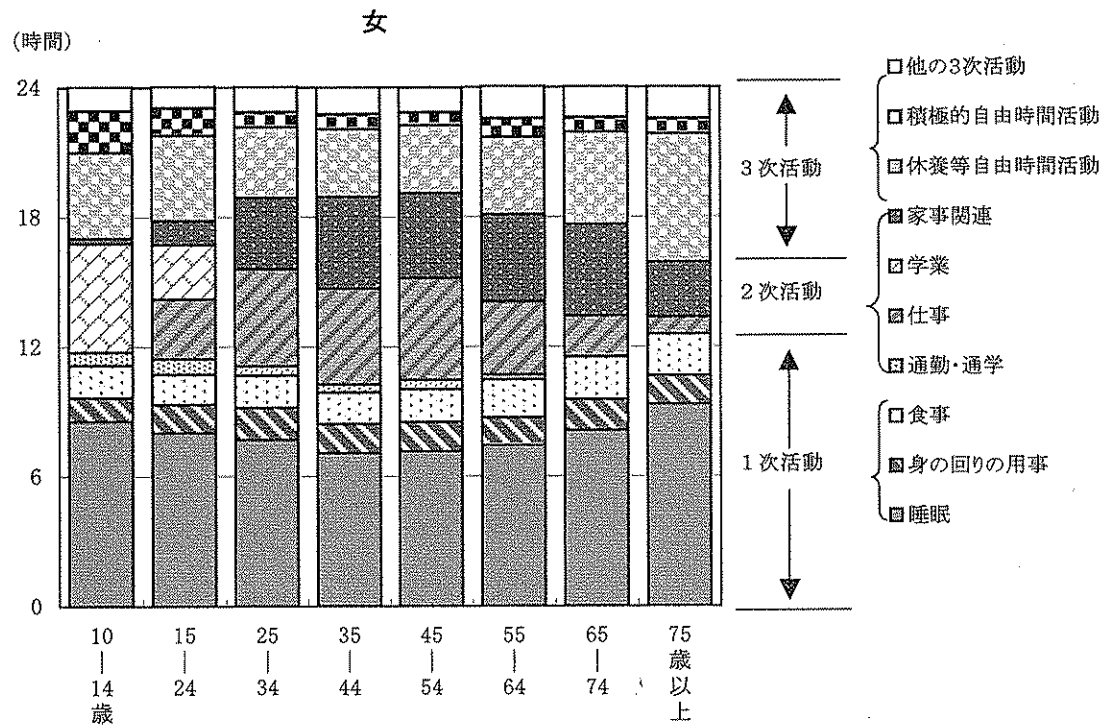
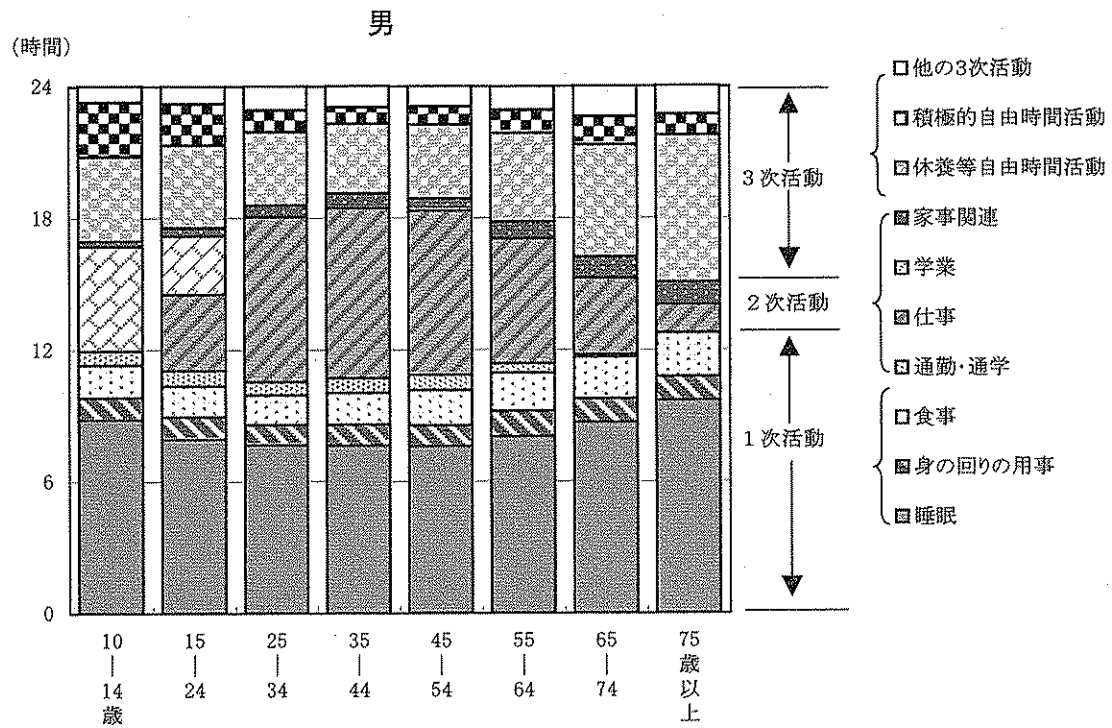


図 1 - 3 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間一週全体

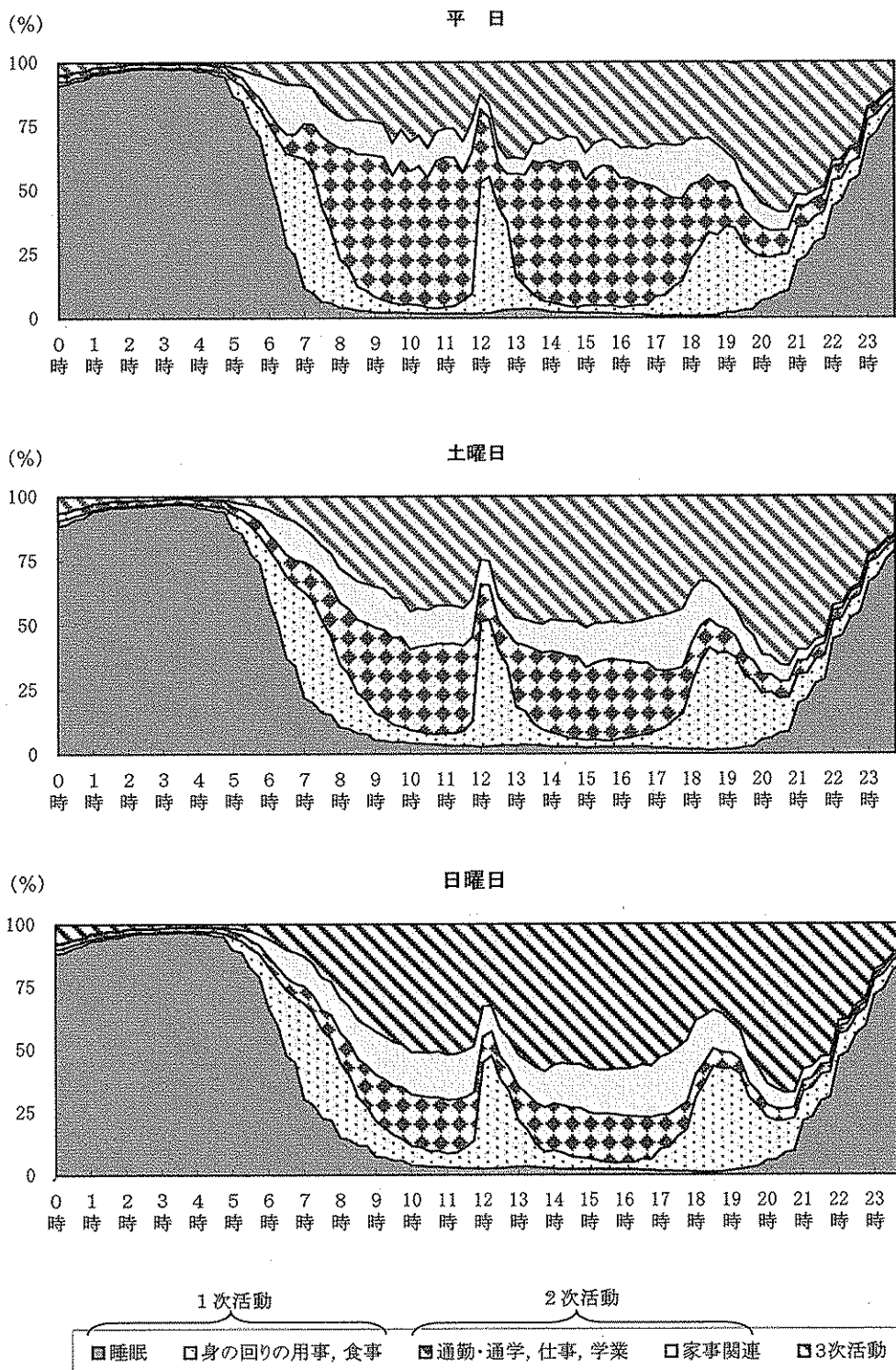


(3) 時間帯別にみる行動者率

平日に3次活動の行動者率が5割を超えるのは19時45分から21時45分までの間

行動者率（人口に占める行動者数の割合）を曜日、時間帯別にみると、3次活動の行動者率が5割を超えるのは、平日は19時45分から21時45分までの間、土曜日は15時から15時15分までの間及び19時30分から22時までの間、日曜日は10時から11時45分までの間、13時から17時30分までの間及び19時30分から22時までの間となっている。（図1－4）

図1－4 曜日、行動の種類、時間帯別行動者率



2 1 次活動

(1) 睡眠

①35歳以上55歳未満で短い睡眠時間

睡眠時間は8時間で、男性は8時間9分、女性は7時間53分と男性が16分長くなっている。

年齢階級別にみると、35～44歳が7時間21分と最も短く、次いで45～54歳が7時間23分などとなっており、65歳以上が8時間52分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、15歳以上35歳未満の年齢階級を除いて男性が女性より長くなっている。(図2-1, 表2-1)

②25歳未満を除くすべての年齢階級で睡眠時間は減少

睡眠時間を平成13年と比べると、3分の減少となっている。

年齢階級別にみると、25歳未満を除くすべての年齢階級で減少している。(図2-2, 表2-1)

図2-1 男女、年齢階級別睡眠時間
—週全体

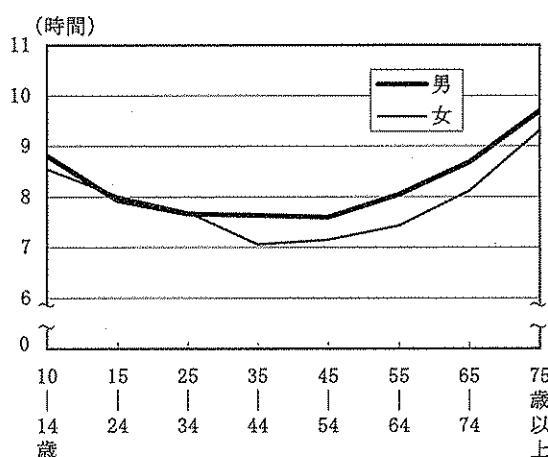


図2-2 年齢階級別睡眠時間(平成13年, 18年) —週全体

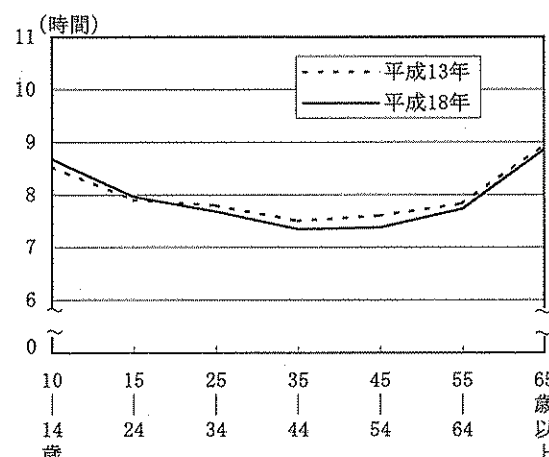


表2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成13年, 18年) —週全体

	総 数			男			女			男女差 平成18年
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	
総数	8.03	8.00	-0.03	8.12	8.09	-0.03	7.56	7.53	-0.03	0.16
10～14歳	8.32	8.41	0.09	8.36	8.49	0.13	8.29	8.33	0.04	0.16
15～24歳	7.54	7.58	0.04	8.04	7.56	-0.08	7.43	8.01	0.18	-0.05
25～34歳	7.48	7.41	-0.07	7.51	7.40	-0.11	7.45	7.42	-0.03	-0.02
35～44歳	7.30	7.21	-0.09	7.42	7.38	-0.04	7.19	7.04	-0.15	0.34
45～54歳	7.36	7.23	-0.13	7.53	7.36	-0.17	7.18	7.09	-0.09	0.27
55～64歳	7.50	7.44	-0.06	8.04	8.03	-0.01	7.38	7.26	-0.12	0.37
65歳以上	8.57	8.52	-0.05	9.06	9.07	0.01	8.50	8.42	-0.08	0.25

③平日及び日曜日の睡眠時間が減少

曜日別に睡眠時間をみると、1日(午前0時から起算する24時間)のうち、平日が7時間53分、土曜日が8時間8分、日曜日が8時間27分となっており、平日に比べ日曜日は34分長くなっている。

男女別に平成13年と比べると、男女共に平日は減少している。

(図2-3, 表2-2)

図2-3 男女、曜日別睡眠時間(平成13年, 18年)

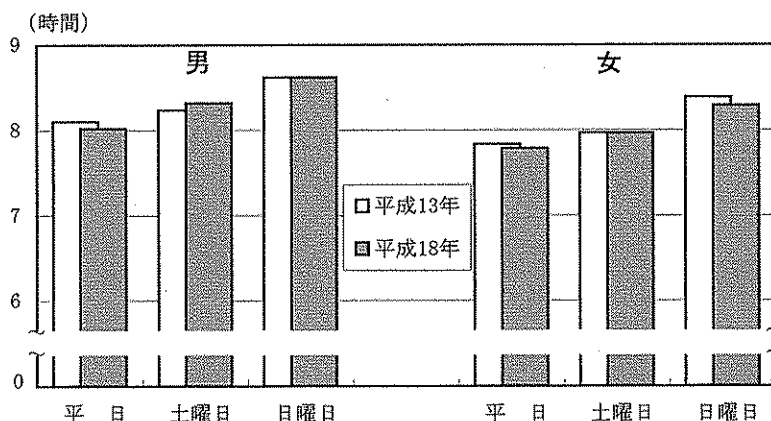


表2-2 男女、曜日別睡眠時間(平成13年, 18年)

	総数		男		女	
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年
平日	7.58	7.53	8.06	8.01	7.50	7.47
土曜日	8.06	8.08	8.14	8.19	7.58	7.58
日曜日	8.30	8.27	8.37	8.37	8.23	8.17

④増加傾向が続いていた睡眠時間が平成18年は減少

過去20年間の睡眠時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人について男女別にみると、男女共に増加傾向であったが、平成18年は減少に転じている。(図2-4, 表2-3)

図2-4 男女別睡眠時間の推移(昭和61年~平成18年)一週全体, 15歳以上

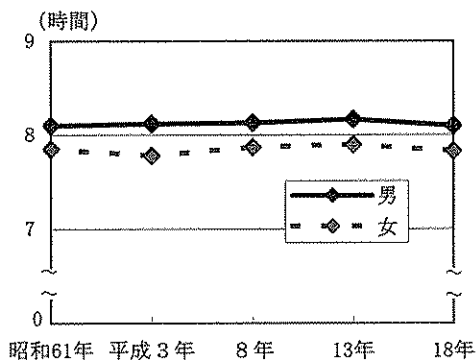


表2-3 男女別睡眠時間の推移(昭和61年~平成18年)一週全体, 15歳以上

	男	女
昭和61年	8.06	7.51
平成3年	8.07	7.47
平成8年	8.08	7.52
平成13年	8.10	7.54
平成18年	8.06	7.50

(2) 身の回りの用事

①男性は55～64歳、女性は25～34歳で最も長い身の回りの用事の時間

身の回りの用事の時間は1時間12分で、男性は1時間2分、女性は1時間21分と女性が19分長くなっている。

年齢階級別にみると、10～14歳が1時間3分と最も短く、65歳以上が1時間15分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、男性は55～64歳で、女性は25～34歳で、それ以外の年齢階級よりも長くなっている。（図2-5、表2-4）

②多くの年齢階級で増加している身の回りの用事の時間

身の回りの用事の時間を平成13年と比べると、2分の増加となっている。

年齢階級別にみると、10～14歳及び55歳以上の年齢階級以外で増加している。（図2-6、表2-4）

図2-5 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間－週全体

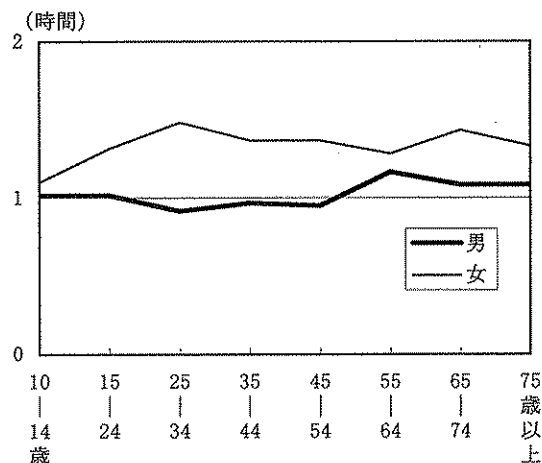


図2-6 年齢階級別身の回りの用事の時間（平成13年、18年）－週全体

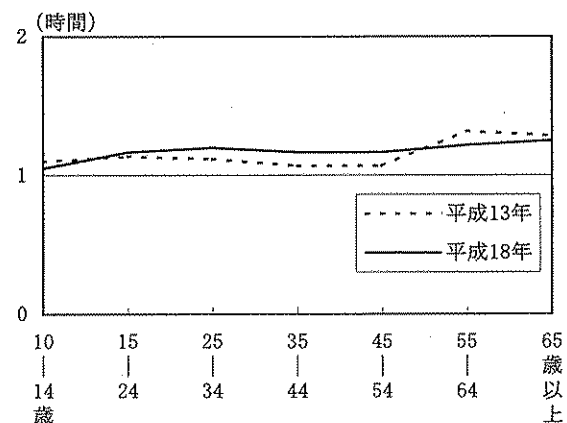


表2-4 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間（平成13年、18年）－週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
総数	1.10	1.12	0.02	1.00	1.02	0.02	1.20	1.21	0.01	-0.19
10～14歳	1.06	1.03	-0.03	0.56	1.01	0.05	1.17	1.06	-0.11	-0.05
15～24歳	1.08	1.10	0.02	0.53	1.01	0.08	1.24	1.19	-0.05	-0.18
25～34歳	1.07	1.12	0.05	0.52	0.55	0.03	1.23	1.29	0.06	-0.34
35～44歳	1.04	1.10	0.06	0.55	0.58	0.03	1.13	1.22	0.09	-0.24
45～54歳	1.04	1.10	0.06	0.58	0.57	-0.01	1.11	1.22	0.11	-0.25
55～64歳	1.19	1.13	-0.06	1.13	1.10	-0.03	1.25	1.17	-0.08	-0.07
65歳以上	1.17	1.15	-0.02	1.07	1.05	-0.02	1.24	1.23	-0.01	-0.18

③男女共に20年間で10分以上増加した身の回りの用事の時間

過去20年間の身の回りの用事の時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人について男女別にみると、男女共に増加しており、昭和61年と比べると、男性は11分、女性は13分の増加となっている。（図2-7、表2-5）

図2-7 男女別身の回りの用事の時間の推移（昭和61年～平成18年）－週全体、15歳以上

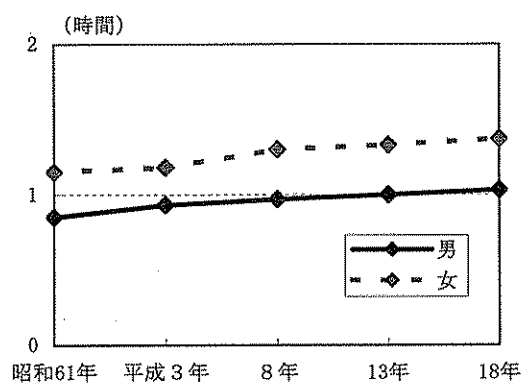


表2-5 男女別身の回りの用事の時間の推移（昭和61年～平成18年）－週全体、15歳以上

(時間、分)		
	男	女
昭和61年	0.51	1.09
平成3年	0.56	1.11
平成8年	0.58	1.18
平成13年	1.00	1.20
平成18年	1.02	1.22

(3) 食事

①高齢層で長い食事時間

食事時間は1時間38分で、男性は1時間37分、女性は1時間39分と女性が2分長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳が1時間24分と最も短く、65歳以上が1時間56分と最も長くなっており、15歳以上は年齢階級が高くなるほど長くなる傾向となっている。

これを男女別にみると、45～54歳の年齢階級のみ男性が女性より長くなっている。(表2-6)

②65歳以上を除くすべての年齢階級で減少している食事時間

食事時間を平成13年と比べると、1分の減少とほぼ横ばいになっている。

年齢階級別にみると、65歳以上を除くすべての年齢階級で減少している。(表2-6)

表2-6 男女、年齢階級別食事時間(平成13年、18年)一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
総数	1.39	1.38	-0.01	1.37	1.37	0.00	1.41	1.39	-0.02	-0.02
10～14歳	1.31	1.30	-0.01	1.28	1.29	0.01	1.34	1.30	-0.04	-0.01
15～24歳	1.25	1.24	-0.01	1.22	1.24	0.02	1.28	1.24	-0.04	0.00
25～34歳	1.28	1.26	-0.02	1.26	1.22	-0.04	1.30	1.30	0.00	-0.08
35～44歳	1.37	1.27	-0.10	1.35	1.27	-0.08	1.38	1.27	-0.11	0.00
45～54歳	1.36	1.34	-0.02	1.35	1.37	0.02	1.37	1.31	-0.06	0.06
55～64歳	1.48	1.45	-0.03	1.49	1.44	-0.05	1.47	1.46	-0.01	-0.02
65歳以上	1.53	1.56	0.03	1.55	1.56	0.01	1.52	1.56	0.04	0.00

③男女共に大きな変化は見られない食事時間

過去20年間の食事時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人について男女別にみると、男女共に数分の増減はあるものの、大きな変化は見られない。

(図2-8、表2-7)

図2-8 男女別食事時間の推移(昭和61年～平成18年)一週全体、15歳以上

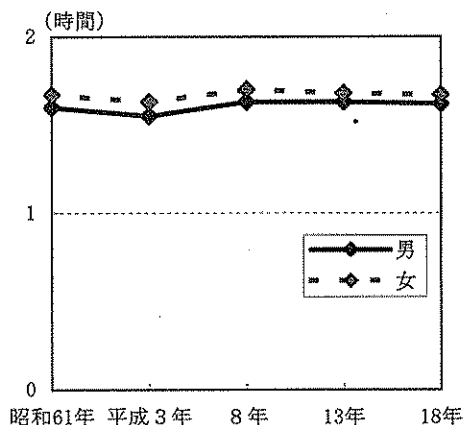


表2-7 男女別食事時間の推移(昭和61年～平成18年)一週全体、15歳以上

	(時間、分)	
	男	女
昭和61年	1.36	1.40
平成3年	1.33	1.38
平成8年	1.38	1.42
平成13年	1.38	1.41
平成18年	1.37	1.40

3 2次活動

(1) 仕事

①男性は35～44歳、女性は15～24歳で最も長い仕事時間

有業者（15歳以上。以下同じ。）は73万7千人（有業率（15歳以上人口に占める有業者の割合）63.8%）で、男性は41万2千人（同75.0%），女性は32万5千人（同53.5%）となっている。（表3-1）

有業者の1日の仕事時間は6時間32分で、男性は7時間14分、女性は5時間38分となっている。

男女、年齢階級別にみると、男性は35～44歳が8時間と最も長く、女性は15～24歳が6時間11分と最も長くなっている。（図3-1、表3-2）

②男女共に35～44歳の年齢階級で仕事時間が大幅に増加

有業者の仕事時間を平成13年と比べると、5分の増加となっており、男性は8分の増加、女性は1分の減少となっている。

男女、年齢階級別にみると、35～44歳の年齢階級で男女とも大幅に増加している。（図3-1、表3-2）

表3-1 男女別有業者数及び有業率
（平成13年、18年）

		平成13年	平成18年	増減
有業者数 (千人)	総数	768	737	-31
	男	421	412	-9
	女	348	325	-23
有業率 (%, 増減 はポイント)	総数	65.3	63.8	-1.5
	男	75.3	75.0	-0.3
	女	56.4	53.5	-2.9

注) 有業率は、ふだんの就業状態不詳を除き算出。

図3-1 男女、年齢階級別仕事時間
（平成13年、18年）一週全体、有業者

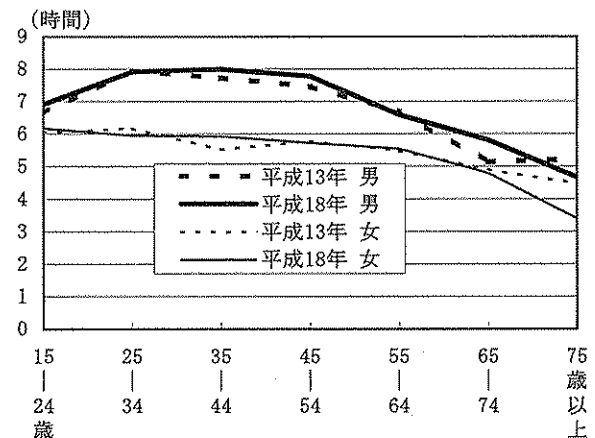


表3-2 男女、年齢階級別仕事時間（平成13年、18年）一週全体、有業者

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
総数	6.27	6.32	0.05	7.06	7.14	0.08	5.39	5.38	-0.01
15～24歳	6.21	6.35	0.14	6.39	6.55	0.16	6.02	6.11	0.09
25～34歳	7.09	7.05	-0.04	7.57	7.55	-0.02	6.10	5.57	-0.13
35～44歳	6.46	7.06	0.20	7.43	8.00	0.17	5.31	5.56	0.25
45～54歳	6.44	6.51	0.07	7.28	7.47	0.19	5.47	5.44	-0.03
55～64歳	6.07	6.09	0.02	6.41	6.36	-0.05	5.29	5.33	0.04
65～74歳	5.02	5.22	0.20	5.08	5.49	0.41	4.54	4.48	-0.06
75歳以上	4.54	3.58	-0.56	5.13	4.40	-0.33	4.28	3.24	-1.04

③仕事時間は平日で増加，土曜日及び日曜日で減少

有業者の仕事時間を曜日別にみると，平日は7時間33分，土曜日は4時間56分，日曜日は3時間1分となっている。

平成13年と比べると，平日は増加しているが，土曜日及び日曜日は減少している。

なお，有業者について曜日別に仕事の行動者率をみると，土曜日は平成13年に比べ6.0ポイント低下している。（表3-3）

表3-3 曜日別仕事時間及び仕事の行動者率（平成13年，18年）—有業者

	時間（時間・分）		行動者率（％）	
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年
平日	7.17	7.33	90.8	89.5
土曜日	5.26	4.56	70.9	64.9
日曜日	3.17	3.01	47.8	43.7

④男性は増加，女性は減少している仕事時間

有業者について，過去10年間の仕事時間の推移を男女別にみると，男性は増加し，女性は減少している。（図3-2，表3-4）

図3-2 男女別仕事時間の推移（昭和61年～平成18年）—週全体，有業者

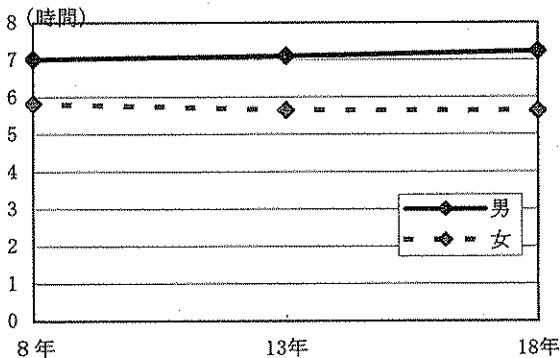


表3-4 男女別仕事時間の推移（昭和61年～平成18年）—週全体，有業者

	(時間・分)		
	総数	男	女
平成8年	6.29	7.01	5.49
平成13年	6.27	7.06	5.39
平成18年	6.32	7.14	5.38

(2) 家事関連

①家事関連時間は35～44歳の女性が最も長い

家事関連時間は2時間1分で、男性は39分、女性は3時間17分と男女の間に大きな差がある。

男女、年齢階級別にみると、男性は概ね年齢が高くなるにつれて長くなっている。一方、女性は25歳以上の年齢階級で3時間以上と長く、特に35～44歳で4時間14分と最も長くなっている。(図3-3、表3-5)

②男性はすべての年齢階級で家事関連時間が増加

家事関連時間を男女別に平成13年と比べると、男性は12分、女性は6分の増加となっている。

男女、年齢階級別にみると、男性はすべての年齢階級で増加している。一方、女性は55歳以上の年齢階級で増加しているが、それ以外の年齢階級では減少している。(図3-3、表3-5)

図3-3 男女、年齢階級別家事関連時間(平成13年、18年)一週全体

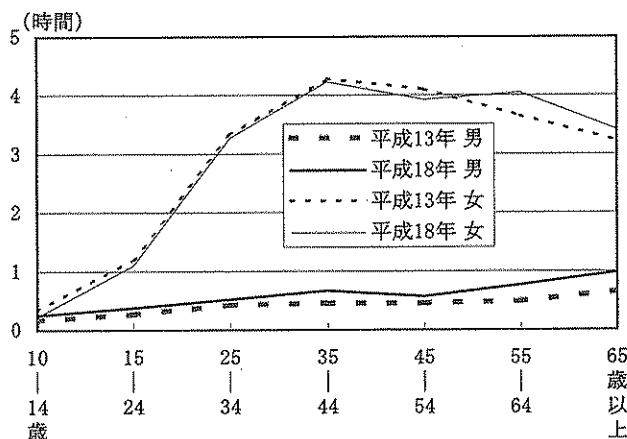


表3-5 男女、年齢階級別家事関連時間(平成13年、18年)一週全体

	総 数			男			女			男女差	
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年
総数	1.52	2.01	0.09	0.27	0.39	0.12	3.11	3.17	0.06	-2.44	-2.38
10～14歳	0.14	0.15	0.01	0.10	0.15	0.05	0.20	0.14	-0.06	-0.10	0.01
15～24歳	0.44	0.45	0.01	0.16	0.23	0.07	1.12	1.06	-0.06	-0.56	-0.43
25～34歳	1.51	1.54	0.03	0.26	0.31	0.05	3.20	3.17	-0.03	-2.54	-2.46
35～44歳	2.22	2.27	0.05	0.27	0.40	0.13	4.17	4.14	-0.03	-3.50	-3.34
45～54歳	2.16	2.14	-0.02	0.27	0.34	0.07	4.06	3.56	-0.10	-3.39	-3.22
55～64歳	2.12	2.26	0.14	0.29	0.46	0.17	3.39	4.03	0.24	-3.10	-3.17
65歳以上	2.10	2.24	0.14	0.39	0.59	0.20	3.14	3.25	0.11	-2.35	-2.26

③女性の土曜日以外はすべて増加した家事関連時間

曜日別に家事関連時間をみると、平日が1時間55分、土曜日が2時間8分、日曜日が2時間25分となっており、平日に比べ日曜日は30分長くなっている。

男女別に平成13年と比べると、女性の土曜日が横ばいとなった以外はすべて増加している。（図3-4、表3-6）

図3-4 男女、曜日別家事関連時間
(平成13年, 18年)

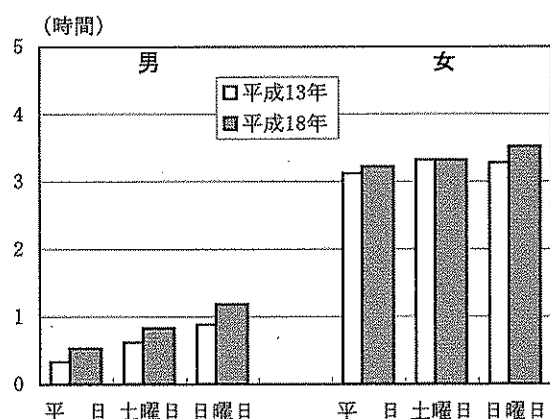


表3-6 男女、曜日別家事関連時間
(平成13年, 18年)

	総数		男		女	
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年
平日	1.48	1.55	0.20	0.32	3.07	3.13
土曜日	2.02	2.08	0.37	0.50	3.19	3.19
日曜日	2.09	2.25	0.53	1.11	3.17	3.31

④男女差は縮小しているが、その差は依然として大きい家事関連時間

過去20年間の家事関連時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人について男女別にみると、男性は増加が続き、昭和61年に比べ19分の増加となっている。これに対し、女性は減少が続いたあと平成13年から増加しているものの、61年に比べると16分の減少となっている。このように男女差は縮小しているものの、その差は依然として大きい。

(図3-5、表3-7)

図3-5 男女別家事関連時間の推移(昭和61年～平成18年)一週全体, 15歳以上

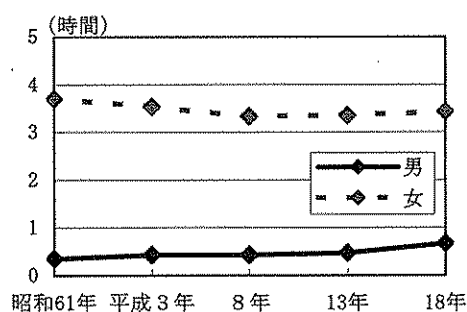


表3-7 男女別家事関連時間の推移(昭和61年～平成18年)一週全体, 15歳以上

	(時間, 分)	
	男	女
昭和61年	0.21	3.42
平成3年	0.26	3.32
平成8年	0.26	3.20
平成13年	0.28	3.21
平成18年	0.40	3.26

4 3次活動

(1) 休養等自由時間活動

①年齢階級が高くなるほど男女差が大きい

休養等自由時間活動の時間は4時間で、このうちテレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間は2時間26分となっている。(表4-1)

男女、年齢階級別にみると、25歳未満では女性が長く、25歳以上では男性が長くなっている。(図4-1、表4-1)

②35歳未満の年齢階級で休養等自由時間活動の時間が増加

休養等自由時間活動の時間を平成13年と比べると、5分の増加となっており、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間は6分減少しているのに対し、休養・くつろぎは11分増加している。

年齢階級別にみると、35歳未満で増加し、35歳以上で減少している。(図4-2、表4-1)

図4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間－週全体

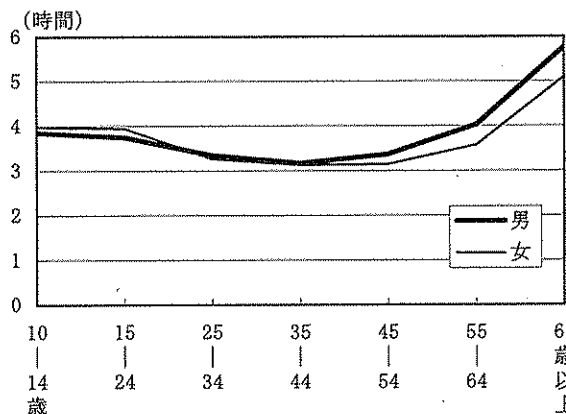


図4-2 年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成13年、18年)－週全体

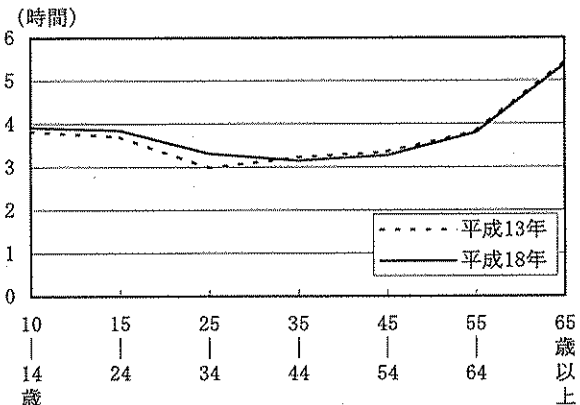


表4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成13年、18年)－週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
休養等自由時間活動	3.55	4.00	0.05	4.03	4.04	0.01	3.47	3.56	0.09	0.08
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.32	2.26	-0.06	2.39	2.32	-0.07	2.26	2.20	-0.06	0.12
休養・くつろぎ	1.23	1.34	0.11	1.24	1.32	0.08	1.21	1.36	0.15	-0.04
休養等自由時間活動										
10～14歳	3.49	3.55	0.06	3.48	3.51	0.03	3.50	3.59	0.09	-0.08
15～24歳	3.42	3.51	0.09	3.48	3.45	-0.03	3.36	3.57	0.21	-0.12
25～34歳	2.59	3.19	0.20	3.08	3.21	0.13	2.50	3.16	0.26	0.05
35～44歳	3.13	3.09	-0.04	3.23	3.10	-0.13	3.04	3.08	0.04	0.02
45～54歳	3.21	3.16	-0.05	3.31	3.22	-0.09	3.11	3.09	-0.02	0.13
55～64歳	3.49	3.48	-0.01	3.58	4.02	0.04	3.41	3.35	-0.06	0.27
65歳以上	5.27	5.23	-0.04	5.53	5.46	-0.07	5.09	5.06	-0.03	0.40

(2) 積極的自由時間活動

①積極的自由時間活動の時間は男性が女性より長い

積極的自由時間活動の時間は58分で、このうち趣味・娯楽に費やす時間は35分と最も長く、次いでスポーツ、学習・研究（学業以外）などとなっている。

男女別にみると、男性は1時間9分、女性は49分と男性が20分長くなっている。

これを年齢階級別にみると、男性は25～54歳、女性は25歳以上の年齢階級で1時間未満と短くなっている。（図4-3、表4-2）

②45歳以上の年齢階級で積極的自由時間活動の時間が減少

積極的自由時間活動の時間を平成13年と比べると、1分の減少となっており、このうち学習・研究（学業以外）が3分の減少となっている。

年齢階級別にみると、10～44歳の年齢階級で増加し、45歳以上で減少している。（図4-4、表4-2）

図4-3 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間－週全体

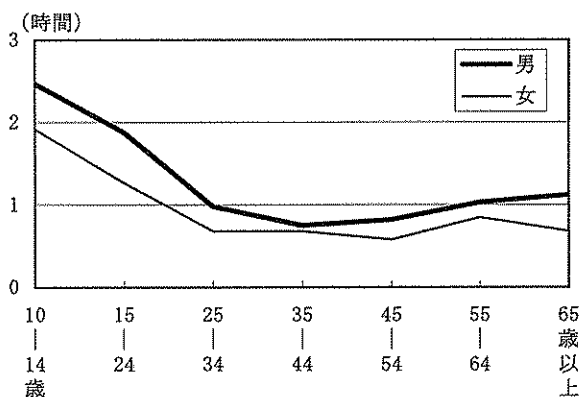


図4-4 年齢階級別積極的自由時間活動の時間（平成13年、18年）－週全体

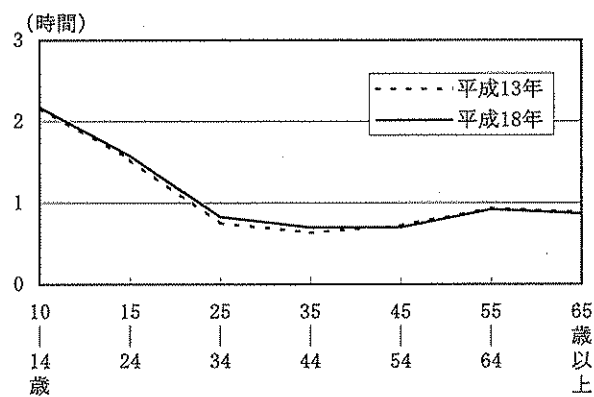


表4-2 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間（平成13年、18年）－週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
積極的自由時間活動	0.59	0.58	-0.01	1.06	1.09	0.03	0.50	0.49	-0.01	0.20
学習・研究(学業以外)	0.11	0.08	-0.03	0.10	0.07	-0.03	0.11	0.08	-0.03	-0.01
趣味・娯楽	0.34	0.35	0.01	0.40	0.42	0.02	0.28	0.29	0.01	0.13
スポーツ	0.11	0.12	0.01	0.14	0.17	0.03	0.08	0.09	0.01	0.08
ボランティア活動・社会参加活動	0.03	0.03	0.00	0.02	0.03	0.01	0.03	0.03	0.00	0.00
積極的自由時間活動										
10～14歳	2.10	2.11	0.01	2.05	2.28	0.23	2.14	1.55	-0.19	0.33
15～24歳	1.32	1.35	0.03	1.48	1.53	0.05	1.16	1.16	0.00	0.37
25～34歳	0.45	0.50	0.05	0.54	0.59	0.05	0.39	0.41	0.02	0.18
35～44歳	0.38	0.42	0.04	0.42	0.45	0.03	0.34	0.41	0.07	0.04
45～54歳	0.43	0.42	-0.01	0.42	0.49	0.07	0.42	0.35	-0.07	0.14
55～64歳	0.56	0.55	-0.01	0.59	1.02	0.03	0.53	0.51	-0.02	0.11
65歳以上	0.53	0.52	-0.01	1.15	1.07	-0.08	0.37	0.41	0.04	0.26

(3) 交際・付き合い

15～24歳で大きく減少した交際・付き合いの時間

交際・付き合いの時間は19分で、男性は18分、女性は20分となっている。

年齢階級別に平成13年と比べると、15～24歳が21分と大きく減少している。（図4-5，表4-3）

図4-5 年齢階級別交際・付き合いの時間（平成13年，18年）一週全体

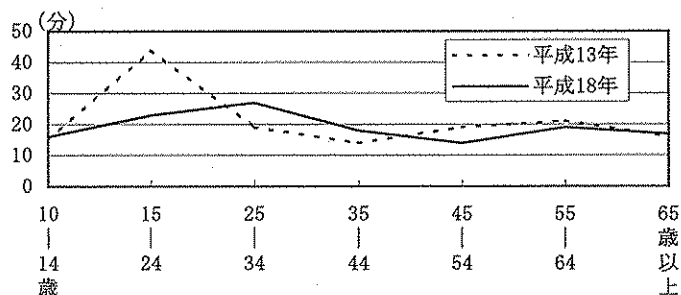


表4-3 男女，年齢階級別交際・付き合いの時間（平成13年，18年）一週全体 (分)

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
総数	21	19	-2	22	18	-4	20	20	0	-2
10～14歳	15	16	1	21	17	-4	10	16	6	1
15～24歳	44	23	-21	44	20	-24	43	27	-16	-7
25～34歳	19	27	8	18	28	10	21	27	6	1
35～44歳	14	18	4	18	18	0	11	18	7	0
45～54歳	19	14	-5	21	9	-12	17	18	1	-9
55～64歳	21	19	-2	22	19	-3	21	19	-2	0
65歳以上	16	17	1	13	15	2	19	17	-2	-2

(4) 主な行動の種類別3次活動時間の推移

交際・付き合いは減少傾向

主な行動の種類別に過去20年間の3次活動時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人についてみると、休養等自由時間活動の時間は平成3年から増加傾向、積極的自由時間活動の時間は横ばい、交際・付き合いの時間は減少傾向となっている。（図4-6，表4-4）

図4-6 主な行動の種類別3次活動時間の推移（昭和61年～平成18年）一週全体，15歳以上

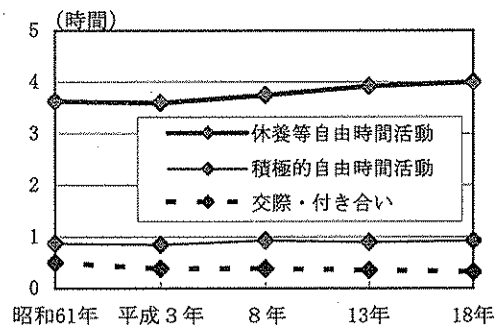


表4-4 主な行動の種類別3次活動時間の推移（昭和61年～平成18年）一週全体，15歳以上

	(時間，分)		
	休養等自由時間活動	積極的自由時間活動	交際・付き合い
昭和61年	3.38	0.52	0.30
平成3年	3.36	0.51	0.23
平成8年	3.45	0.56	0.23
平成13年	3.55	0.54	0.21
平成18年	4.00	0.55	0.19

5 主な行動の平均時刻

(1) 起床

①日曜日を除いて女性が男性より早起き

平均起床時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が6時22分、土曜日が6時40分、日曜日が6時47分となっており、平日に比べ土曜日は18分、日曜日は25分遅くなっている。

男女別にみると、日曜日を除いて女性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男性は平日を除いて有業者が無業者より早く、女性は平日を除いて無業者が早くなっている。

(表5-1)

表5-1 男女、ふだんの就業状態、曜日別平均起床時刻及び起床行動者率

		平成18年					
		平均時刻(時:分)			行動者率(%)		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	6:22	6:40	6:47	99.5	98.8	98.7
	男	6:30	6:53	6:42	98.9	98.8	99.0
	女	6:16	6:28	6:52	100.0	98.9	98.4
有業者	総数	6:23	6:39	6:51	99.1	98.3	98.0
	男	6:34	6:48	6:40	98.4	98.2	98.7
	女	6:10	6:28	7:05	100.0	98.4	97.1
無業者	総数	6:20	6:38	6:34	100.0	99.6	100.0
	男	6:19	7:03	6:46	100.0	100.0	100.0
	女	6:20	6:25	6:28	100.0	99.4	100.0

注) 有業者及び無業者は15歳未満を除く。

1) 12時前に始まり、60分を超えて続く最初の睡眠の終了時刻

② 起床した人の割合が最も高い時刻は、平日が6時30分

起床した人について曜日、起床時刻別に行動者割合をみると、最も高い時刻は平日及び土曜日が6時30分、日曜日が7時となっている。(図5-1)

また、起床した人が5割を超える時刻は平日が6時15分、土曜日及び日曜日が6時30分、8割を超える時刻は平日が7時、土曜日が7時30分、日曜日が7時45分となっている。(図5-2)

図5-1 曜日、起床時刻別行動者割合

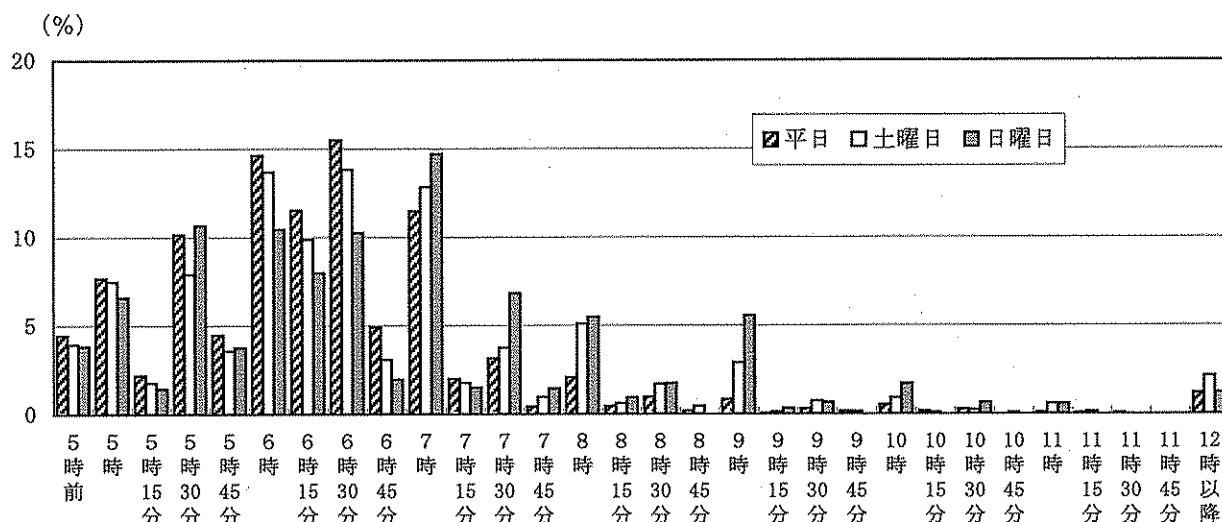
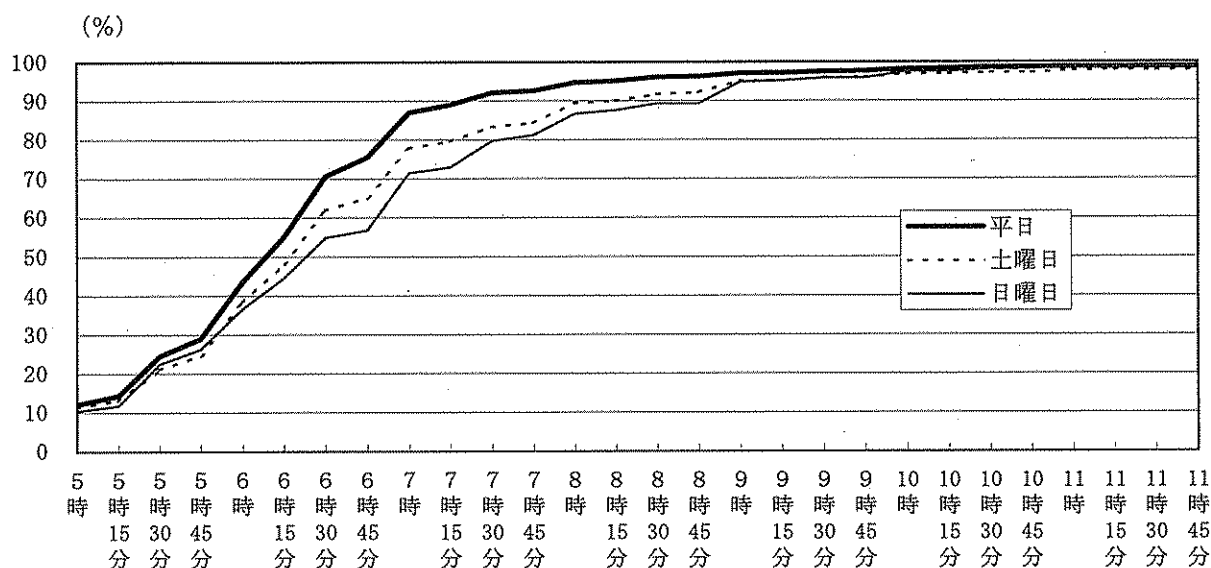


図5-2 曜日、起床時刻別累積行動者割合



(2) 朝食開始

①平均朝食開始時刻はすべての曜日で男性が女性より早い

平均朝食開始時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が7時8分、土曜日が7時19分、日曜日が7時30分となっており、平日に比べ土曜日は11分、日曜日は22分遅くなっている。

男女別にみると、すべての曜日で男性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、女性の日曜日を除いて有業者が無業者より早くなっている。

なお、朝食を開始した人の割合（行動者率）は平日が88.6%、土曜日が88.6%、日曜日が89.0%となっている。

（表5－3）

表5－3 男女、ふだんの就業状態、曜日別
平均朝食開始時刻及び朝食開始行動者率

		平成18年					
		平均時刻（時：分）			行動者率（％）		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	7:08	7:19	7:30	88.6	86.7	89.0
	男	7:03	7:16	7:26	86.3	85.5	87.4
	女	7:13	7:22	7:33	90.8	87.9	90.4
有業者	総数	7:03	7:16	7:29	85.2	83.9	85.8
	男	7:01	7:11	7:25	83.6	83.5	85.6
	女	7:06	7:22	7:33	87.4	84.4	86.0
無業者	総数	7:20	7:25	7:33	93.1	90.5	95.3
	男	7:15	7:29	7:35	91.6	88.5	94.8
	女	7:23	7:23	7:32	93.8	91.6	95.5

注）有業者及び無業者は15歳未満を除く。

1) 4時以降、11時前に始まる最初の食事開始時刻

② 朝食を開始した人の割合が最も高い時刻は、すべての曜日で7時

朝食を開始した人について曜日、朝食開始時刻別に行動者割合をみると、最も高い時刻はすべての曜日で7時となっている。（図5-3）

また、朝食を開始した人が5割を超える時刻は平日が7時、土曜日が7時15分、日曜日が7時30分、8割を超える時刻は平日が7時45分、土曜日及び日曜日が8時となっている。

（図5-4）

図5-3 曜日、朝食開始時刻別行動者割合

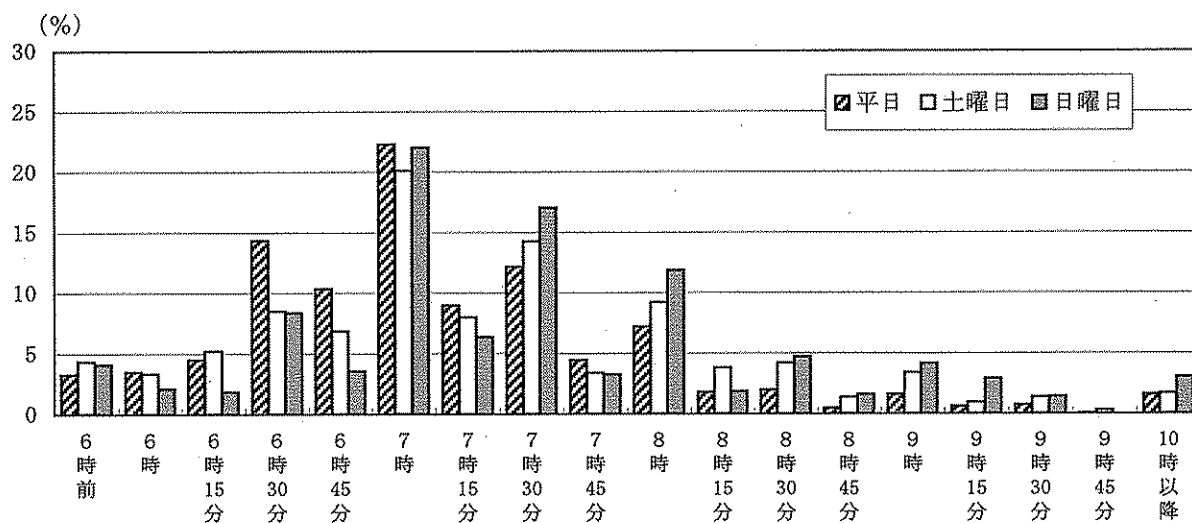
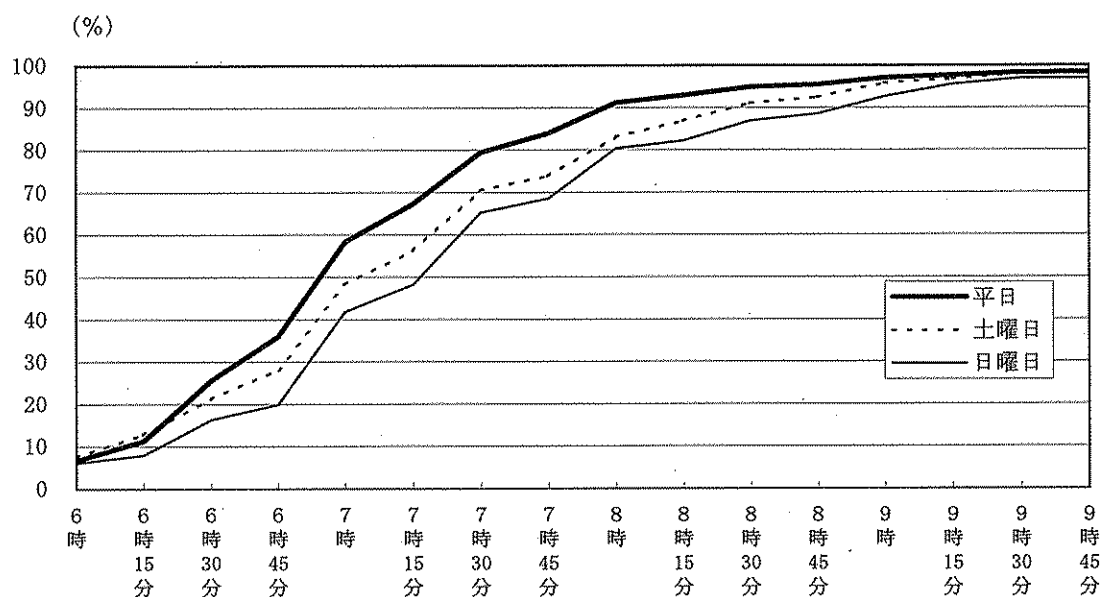


図5-4 曜日、朝食開始時刻別累積行動者割合



(3) 夕食開始

①平均夕食開始時刻はすべての曜日で女性が男性より早い

平均夕食開始時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が18時52分、土曜日が18時42分、日曜日が18時44分となっており、平日に比べ土曜日は10分、日曜日は8分早くなっている。

男女別にみると、すべての曜日で女性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男女共にすべての曜日で無業者が有業者より早くなっている。

なお、夕食を開始した人の割合（行動者率）は平日が93.4%、土曜日が90.0%、日曜日が92.9%となっており、平日に比べ土曜日及び日曜日で低くなっている。

（表5－3）

表5－3 男女、ふだんの就業状態、曜日別平均
夕食開始時刻及び夕食開始行動者率

		平成18年					
		平均時刻（時：分）			行動者率（％）		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	18:52	18:42	18:44	93.4	90.0	92.9
	男	19:02	18:46	18:46	93.9	90.6	89.3
	女	18:43	18:38	18:42	93.0	89.4	96.2
有業者	総数	19:07	18:50	18:48	91.9	87.2	91.8
	男	19:16	18:51	18:50	92.4	88.2	87.9
	女	18:55	18:48	18:46	91.3	86.0	96.4
無業者	総数	18:28	18:30	18:33	95.8	94.0	96.8
	男	18:25	18:35	18:35	97.0	95.8	100.0
	女	18:29	18:27	18:32	95.2	93.0	95.3

注）有業者及び無業者は15歳未満を除く。

1) 16時以降、24時(翌日0時)前に始まる最初の食事開始時刻

② 夕食を開始した人の割合が最も高い時刻は、すべての曜日で19時

夕食を開始した人について曜日、夕食開始時刻別に行動者割合をみると、最も高い時刻はすべての曜日で19時となっている。（図5-5）

また、夕食を開始した人が5割を超える時刻は平日が18時45分、土曜日及び日曜日が18時30分、8割を超える時刻は平日が19時30分、土曜日が19時15分、日曜日が19時となっている。（図5-6）

図5-5 曜日、夕食開始時刻別行動者割合

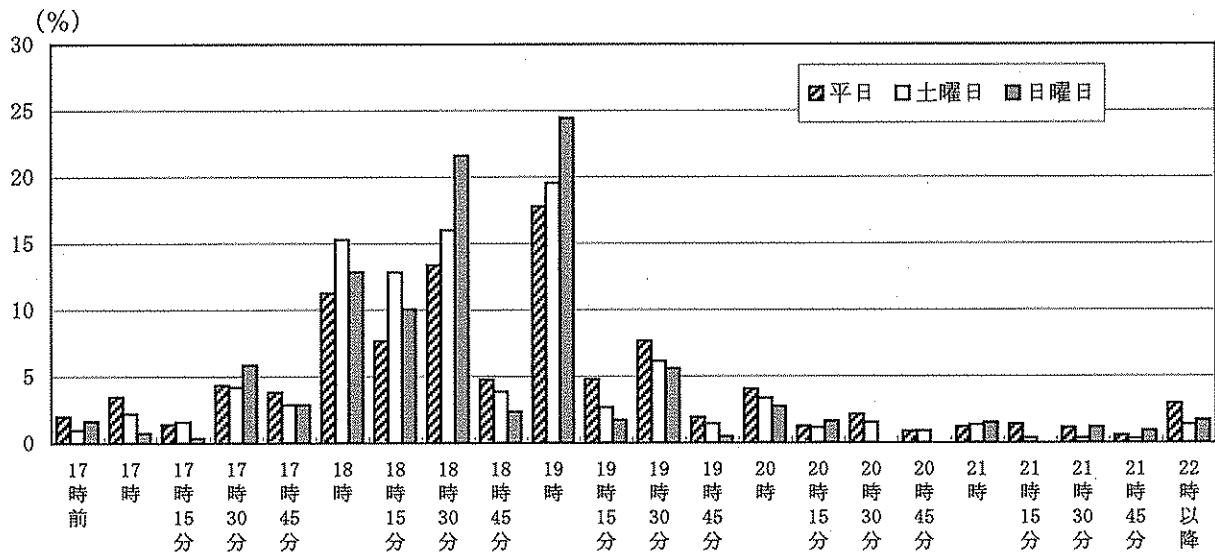
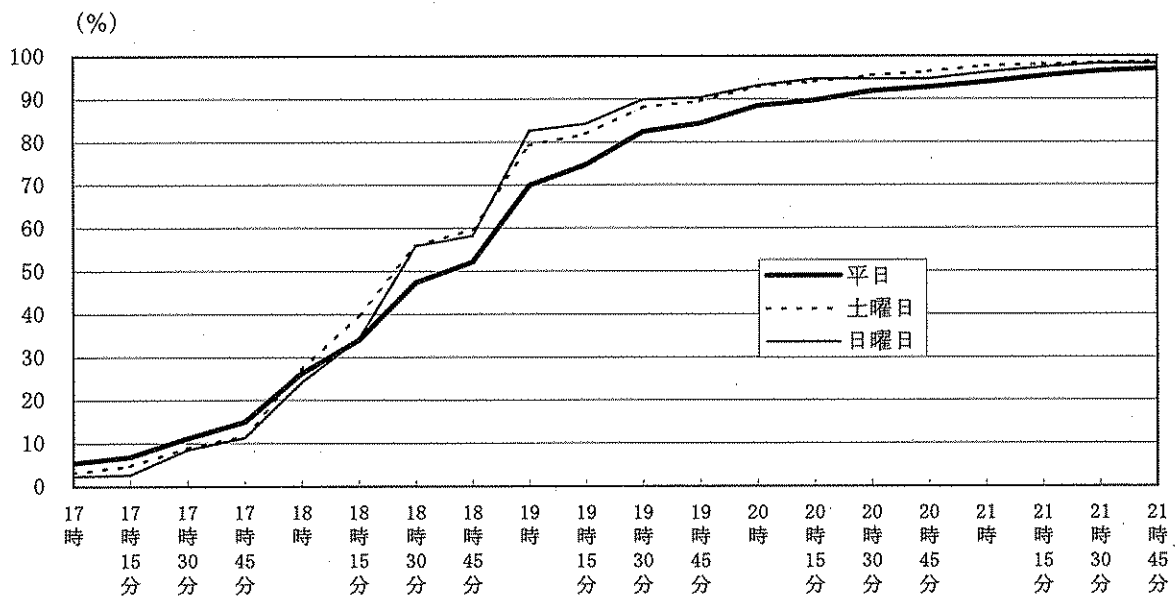


図5-6 曜日、夕食開始時刻別累積行動者割合



(4) 就寝

①平均就寝時刻はすべての曜日で女性が早い

平均就寝時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が22時37分、土曜日が22時41分、日曜日が22時26分となっており、平日に比べ土曜日は4分遅く、日曜日は11分早くなっている。

男女別にみると、すべての曜日で女性が男性より早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男女共にすべての曜日で無業者が有業者より早くなっている。

(表5-4)

表5-4 男女、ふだんの就業状態、曜日別
平均就寝時刻及び就寝行動者率

		平成18年					
		平均時刻(時:分)			行動者率(%)		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	22:37	22:41	22:26	99.5	99.3	99.5
	男	22:39	22:47	22:28	99.0	99.1	99.0
	女	22:34	22:36	22:24	99.8	99.5	100.0
有業者	総数	22:57	23:01	22:36	99.3	98.9	99.3
	男	22:59	23:01	22:36	98.8	98.7	98.7
	女	22:55	23:00	22:35	99.9	99.1	100.0
無業者	総数	22:05	22:14	22:10	99.7	100.0	100.0
	男	21:47	22:22	22:12	99.4	100.0	100.0
	女	22:13	22:10	22:09	99.8	100.0	100.0

注) 有業者及び無業者は15歳未満を除く。

1) 17時以降、36時(翌日12時)前に始まり、60分を超えて続く睡眠の開始時刻

② 就寝した人の割合が5割を超える時刻は、すべての曜日で22時30分

就寝した人について曜日、就寝時刻別に行動者割合をみると、最も高い時刻は平日及び日曜日で23時、土曜日で22時となっている。（図5-7）

また、就寝した人が5割を超える時刻は、すべての曜日で22時30分となっており、8割を超える時刻は平日が23時45分、土曜日が翌日の0時、日曜日が23時30分となっている。（図5-8）

図5-7 曜日、就寝時刻別行動者割合

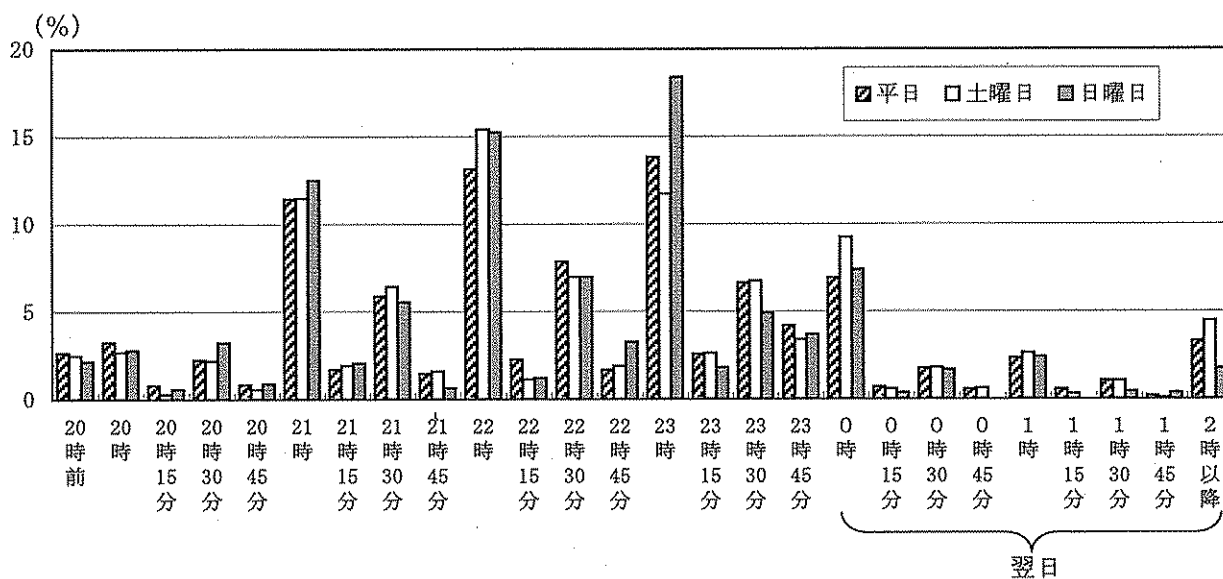
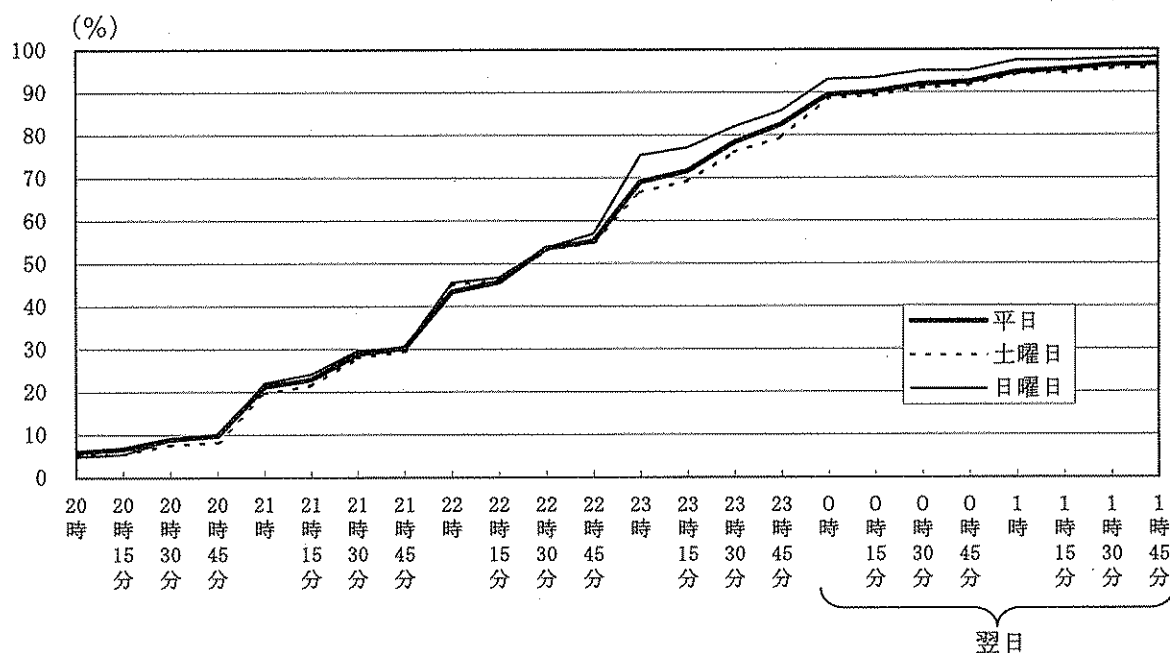


図5-8 曜日、就寝時刻別累積行動者割合



(資料) 平成18年社会生活基本調査結果(行動の種類別総平均時間一週全体)

単位:分

睡眠			身の回りの用事			食 事			仕 事			家事関連			休養等自由時間活動		
順位	都道府県	総平均時間	順位	都道府県	総平均時間	順位	都道府県	総平均時間	順位	都道府県	総平均時間	順位	都道府県	総平均時間	順位	都道府県	総平均時間
1	秋田県	485	1	高知県	80	1	東京都	105	1	青森県	403	1	奈良県	144	1	北海道	258
1	山形県	485	2	秋田県	79	1	山梨県	105	2	沖縄県	393	2	兵庫県	139	2	愛媛県	246
3	青森県	482	2	栃木県	79	3	秋田県	104	3	岩手県	392	2	山口県	139	3	福島県	245
4	岩手県	480	2	東京都	79	3	長野県	104	3	佐賀県	392	4	神奈川県	137	3	新潟県	245
5	宮城県	475	2	島根県	79	5	埼玉県	103	5	石川県	388	4	和歌山県	137	5	青森県	244
6	島根県	474	6	茨城県	78	6	大阪府	102	5	福岡県	388	6	京都府	136	6	徳島県	243
6	高知県	474	6	群馬県	78	6	奈良県	102	7	長崎県	387	7	滋賀県	134	7	栃木県	241
8	北海道	473	6	徳島県	78	6	鹿児島県	102	8	福井県	385	8	埼玉県	133	7	和歌山県	241
8	福島県	473	9	神奈川県	77	9	茨城県	101	9	北海道	381	8	鳥取県	133	9	岩手県	240
10	沖縄県	472	9	福井県	77	9	群馬県	101	9	秋田県	381	10	愛媛県	132	9	山口県	240
11	新潟県	471	9	大阪府	77	9	千葉県	101	9	福島県	381	10	長崎県	132	11	宮城県	239
11	山梨県	471	9	和歌山県	77	9	京都府	101	9	広島県	381	12	千葉県	131	11	秋田県	239
11	熊本県	471	9	山口県	77	9	高知県	101	9	香川県	381	13	群馬県	130	11	香川県	239
11	鹿児島県	471	9	大分県	77	14	福島県	100	9	鹿児島県	381	13	岐阜県	130	11	大分県	239
15	和歌山県	470	15	千葉県	76	14	兵庫県	100	15	富山県	378	13	沖縄県	130	15	富山県	238
16	福井県	468	15	静岡県	76	14	和歌山県	100	16	熊本県	377	16	長野県	129	15	鹿児島県	238
17	長野県	467	15	広島県	76	14	宮崎県	100	16	宮崎県	377	17	大分県	129	17	鳥取県	237
18	鳥取県	466	15	香川県	76	14	全国	99	18	宮城県	376	17	全国	128	17	長崎県	237
18	大分県	466	15	愛媛県	76	18	広島県	99	18	岐阜県	376	18	広島県	128	19	島根県	236
18	宮崎県	466	15	宮崎県	76	18	徳島県	99	18	愛知県	376	18	徳島県	128	20	高知県	235
21	群馬県	465	15	全国	75	18	熊本県	99	21	長野県	374	20	愛知県	127	21	岐阜県	234
21	三重県	465	21	宮城県	75	21	岩手県	98	21	山口県	374	20	三重県	127	21	大阪府	234
21	徳島県	465	21	埼玉県	75	21	栃木県	98	23	栃木県	373	20	岡山県	127	21	福岡県	234
21	愛媛県	465	21	長野県	75	21	新潟県	98	23	岡山県	373	23	東京都	126	24	佐賀県	233
21	佐賀県	465	21	京都府	75	21	福井県	98	25	山形県	372	23	静岡県	126	25	山形県	232
26	茨城県	464	21	兵庫県	75	21	大分県	98	25	鳥取県	372	23	大阪府	126	25	愛知県	232
26	静岡県	464	21	奈良県	75	26	宮城県	97	27	神奈川県	370	23	香川県	126	27	兵庫県	231
26	岡山県	464	21	福岡県	75	26	神奈川県	97	27	全国	369	23	高知県	126	28	京都府	230
26	広島県	464	21	鹿児島県	75	26	滋賀県	97	28	三重県	369	28	福島県	125	28	全国	229
26	長崎県	464	29	青森県	74	26	岡山県	97	28	奈良県	369	28	富山県	125	29	三重県	229
31	栃木県	463	29	新潟県	74	26	福岡県	97	30	新潟県	367	28	石川県	125	29	熊本県	229
31	富山県	463	29	山梨県	74	26	長崎県	97	30	山梨県	367	28	鹿児島県	125	29	宮崎県	229
31	石川県	463	29	三重県	74	32	青森県	96	30	静岡県	367	32	北海道	124	32	茨城県	228
34	岐阜県	462	29	岡山県	74	32	山形県	96	30	徳島県	367	32	福井県	124	32	山梨県	228
34	山口県	462	29	熊本県	74	32	岐阜県	96	30	大分県	367	32	島根県	124	34	静岡県	226
34	香川県	462	29	熊本市	74	32	静岡県	96	35	埼玉県	366	32	福岡県	124	35	長野県	223
37	福岡県	461	36	福島県	73	32	愛知県	96	35	島根県	366	36	栃木県	123	35	岡山県	223
38	滋賀県	460	36	富山県	73	32	香川県	96	37	群馬県	365	36	宮崎県	123	35	沖縄県	223
38	大阪府	460	36	滋賀県	73	38	富山県	95	37	滋賀県	365	38	茨城県	122	38	奈良県	222
40	京都府	459	36	佐賀県	73	38	石川県	95	37	高知県	365	38	山梨県	122	39	石川県	221
41	兵庫県	458	40	北海道	72	38	鳥取県	95	40	茨城県	364	40	岩手県	121	39	滋賀県	221
42	埼玉県	457	40	岩手県	72	38	島根県	95	41	和歌山県	363	40	秋田県	121	39	広島県	221
42	愛知県	457	40	石川県	72	38	愛媛県	95	42	千葉県	360	40	新潟県	121	42	群馬県	220
44	東京都	456	40	岐阜県	72	38	佐賀県	95	42	兵庫県	360	40	佐賀県	121	43	神奈川県	219
44	奈良県	456	40	長崎県	72	38	沖縄県	95	44	大阪府	356	44	宮城県	120	44	千葉県	218
46	千葉県	453	45	山形県	71	45	三重県	94	45	愛媛県	355	44	山形県	120	45	東京都	216
47	神奈川県	451	45	愛知県	71	45	山口県	94	46	東京都	352	44	熊本県	120	46	埼玉県	215
			47	沖縄県	68	47	北海道	93	47	京都府	346	47	青森県	118	47	福井県	211

※「仕事」は有業者のみの総平均時間、他は総数の総平均時間

【問い合わせ先】〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
岩手県総合政策室調査統計課 生活統計担当
TEL 019-629-5296 FAX 019-629-5309
E-mail AA0003@pref.iwate.jp
http://www.pref.iwate.jp/stat/